



# 福音丸新報

No. 95  
2020年  
12月24日

日本バプテスト同盟内海部会・瀬戸内海伝道団  
委員長：石塚多美子  
722-2411  
広島県尾道市瀬戸田町  
瀬戸田378-1  
瀬戸田バプテスト教会内

## 巻頭メッセージ

### 「神は愛なり」

マタイ14章28〜33節

中家京子姉

主我を愛す。主は強ければ、我弱くとも、恐れはあらじ。

今年は新型コロナウイルスの感染が全世界に広がり、多くの教会が感染予防対策に追われました。通常の信仰生活が大きな変化を余儀なくされ、コロナの終息を心から願う二〇二〇年でした。そんな暗い中、瀬戸内海の島々から賛美が生まれました。奈落の淵にある小さく弱い者を助け出し、生命の希望と喜びに新しく生きる力を下さる主を心から賛美します。

主によって選ばれし、故ビツケル船長の時かれた福音の種が芽生え、育ち、最初の伝道地、小豆島教会は120年の歴史になります。「福音は、すべて信じる者に、救いを得させる神の力



小豆島バプテスト教会

故ビツケル船長の時かれた福音の種が芽生え、育ち、最初の伝道地、小豆島教会は120年の歴史になります。「福音は、すべて信じる者に、救いを得させる神の力

参加は3教会、ヨハネ16章23〜28節を通してみ言葉を聞きました。ともに昼食の時を持ち、楽しい交わりの時となりました。感謝します。  
(向島 大谷孝志)

## 新年礼拝

二〇二〇年一月十三日(月) 11時より内海部会の新年礼拝が行われました。土生バプテスト教会で行う予定でしたが、都合により変更し、場所を向島キリスト教会、説教者を大谷孝志師に依頼して行いました。

大雨警報が発令されました。「主よ、今日は小豆島の奉仕です。これでは出発できません。」と祈りました。午前四時、とにかく準備を始めて、主のゴーサインを待つことにしました。五時半、雨が上がったんです。出発です。「神は我らの避けどころ、また力、悩める時のいと近き助けなり」(詩編46:1)。

「彼らは波が静まったので喜び祝い 望みの港に導かれて行った」。(詩編107:30)

# 部会行事報告



定期総会 於：向島教会



新年礼拝 於：向島教会

## 定期総会

内海部会総会は、例年通り四月二十九日に行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の影響で延期することになりました。その後、感染状況が収まった状態が続いたため、七月二十三日に向島キリスト教会にて定期総会を開催することができました。

コロナ禍の中で残念ながら、夏期レクリエーションや講壇交換は今年度は取りやめることとし、その他の行事についても、感染状況を見ながら実施することとなりました。

また、コロナ禍で十分な引継ぎが困難なことから、部会委員の任期を1年間延長することになりました。

(向島 綿谷剛)

## 女性会

内海部会は離れていて、日ごろ、なかなか交流できないのです。だから、毎年五月に各教会の女性会のみなさんにお会いするのが何よりの楽しみでした。今年は瀬戸田で行う予定でしたが、

新型コロナウイルスの影響で、やむなく総会・修養会が中止となりました。残念でした。文書で二〇一九年度の内海部会女性会のまとめをし、各会員に配布しました。そして、次年度からのお世話をしてくださる広島平和キリスト教会女性会へ引き継ぎをしました。これから2年間、内海部会女性会のお世話、よろしくお願いします。

(瀬戸田 毛利秀子)

## 花咲く郷 祈りの家を訪ねて

二月十二日内海部会女性会の姉妹5名で安下庄教会を訪ねました。

福音丸記念会堂のある安下庄です。表には大きなミモザの木がありました。

二〇一八年に広島で開催された全国信徒会で報告があったように、安下庄教会は閉じて、カトリック信者さんが運営してくださっています。同じ内海部会女性会の方がおられるのに、しばらくお会いしていません。遠くて、なかなか行けませんでした。今回私たちは瀬戸田からは前日に行き、宿泊施設に泊めていただきました。周防大島は今では本土と橋でつながっています。なんと瀬戸田から車で3時間半かかりました。私は初めて訪問しました。

十二日にはカトリックのミサがあり、それに参加させてもらいました。



安下庄 花咲く郷 祈りの家へ 女性会問安

山口県の柳井教区の神父さんが月2回水曜日にもミサを司式しておられるそうです。なんとその神父さん、私が長い間 治療して、助けてもらっていた鍼灸師さんをよく知っておられました。私はその方の葬儀のミサに参列したことがあるのですが、その司式をされていたのだから。不思議な出会いに感激しました。プロテストメントの私たちに、分かりやすい説明を入れながら話してくださいました。

ミサの後、手作りのごちそういただきながら、交わりの時を持ちました。80歳にして、力強い証をされた方がおられました。

「みなさん、モーセは80歳にして神さまに用いられたんです。神さまはいつ、

私たちを用いられるかわかりませんが、年を取ったなんて気を弱くせず、下半身をしつかり温めて、体を大切にしてください。」と熱く語った鍼灸師さんがおられました。ニックネームが料理学校の校長先生という方がおられ、その方の手作りのおいしい、珍しいお料理をいただきました。いちごやブドウのドレッシングもあつたんです。嬉しくて、いっぱいいただきました。

賛美の時もちました。石塚先生がピアノ、溝淵さんがフルートで、みんなで共に歌いました。私は馳走食べ過ぎて、おなかいっぱい、苦しくて、立って大声で歌いました。カトリックの信者さんが「プロテスタントの賛美は元氣いいですね。」と言っています。いや、おなか苦しかっただけです。

この会堂を管理されているのは、山口正人さん。宿泊施設を運営され、県内の中学校から来る体験学習の子どもさんたちの宿泊のお世話もされているそうです。私を表の「福音丸記念會堂」



と書かれたところへ案内してくれました。ここにその会堂があつた思いをとても大切にしてください。さっていると感心しました。ほぼ

ボランティア、よくされているのでしよう。2日前からカレーも炊き込んでくださっていたのです。

一番の目的であつた、内海部会女性会の安下庄の姉妹、坂田さんをお尋ねし、お会いできました。お元気そうでした。良かったです。

時々、岩国からお母さんの介護にと瀬戸田に帰省する信者さん夫婦が瀬戸田教会の礼拝にいられていました。関東在住の頃、東京J.T.J神学校で学び、伝道を志しておられ、ふたりとも音楽家です。安下庄教会で礼拝ができたなら、瀬戸田教会に転会して、信徒伝道者として、岩国から安下庄に行き、この祈りの家で毎週礼拝をしてくださっています。それも祈りの家は受け入れてくださり、応援して下さっています。

福音丸で中本先生はこも訪問されたのでしようと思ひめぐらしました。

福音丸伝道、瀬戸内会伝道に使命と夢を抱いている、石塚先生はこもへ船で来たいと準備しています。「祈里丸」という船も用意できました。というのも車で行くと遠くても船で行くと近いのです。特に中島からはすぐそこです。一つひとつ整えられますようにお祈りください。

心に 体に 恵みいっぱい安下庄訪問でした。

(瀬戸田 毛利秀子)

## 二〇二〇年度内海部会女性会

瀬戸田バプテスト教会女性会より引き続きまして担当になりました。コロナ禍の中、二〇一九年度女性会総会も文書のみとなり、二〇二〇年度総会も開催できるかどうか検討しています。委員長・野村篤子、書記・鵜野早葉子、会計・檀原直美、会計監査・山根幹枝です。高齢者委員会も当番教会の広島が担当となりました。文書・通信等で教会女性会同士の交流ができたら話し合っています。問安については、今年度は難しい状況にあると考えます。未確定な事が多く、申し訳ありませんが今後も話し合い、祈りを深め前に進めていきたいと願っています。よろしくお願ひします。

(広島教会 野村篤子)

## 教師会

### 教師会活動報告

二〇一九年度も、部会教師会を開催が出来ませんでした。

## 講壇交換報告

部会では年に一回、講壇交換を行っています。今年度は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、中止としました。

(向島教会 大谷孝志)

## バプテストおめでとう

広島平和キリスト教会では、二月二十三日に富樫次郎兄、翼兄、翔兄、ジェマ・ローズ・ベティオン姉、九月二十日にメグミ・ニヤン・シャン・キム姉のバプテストが行われました。おめでとうございます。信仰告白をご紹介します。

### 富樫次郎兄

みなさん、こんにちは。私は富樫次郎です。今日、私はクリスチャンになります。

自分は今年60歳になりました。これからの人生、神様とともに生きていこうと決めました。クリスチャンになる事を決めたのは、私の妻がクリスチャンだからです。毎日、私の家族の事を



# バプテストマおめでとう

お祈りしてくれます。神様の話をする時も生き生き話をします。私の人生はこれまで良い事、悪い事いろいろありました。これからの人生、家族の為に、神様とともに生きていこうと決めました。今日が卒業のない入学式です。イエス様の元で少しづつ学んでいきたいと思えます。

(神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。ヨハネ3:16)

## 富樫 翼兄

みなさん、おはようございます。ぼくの名前は富樫翼です。まだ子供だけでなく、お母さんが神様を信じているから、自分も神様を信じるようになりました。今は神様の事をまだ全部は分からないけど、たまにお母さんが神様の話をしてくれるから、だんだんと神様の事について、分かるようになってきました。自分は神様を信じているから大人になっても、その先も自分を見守っていてほしいです。ここまでぼくの話聞いてくれてありがとうございます。(主に自らをゆだねよ。主はあなたの心の願いをかなえて下さる。詩編37:4)



富樫治郎兄、翔兄、翼兄、Gemma姉

## 富樫 翔兄

みなさん、おはようございます。今日は、みなさんの前に立って自分のテストモニーを話すので聞いて下さい。自分が小さいころから、お母さんは自分を教会に連れて行ってくれます。自分は神様のことを信じています。今日ぼくは、バプテストマを受けることを感謝します。今のぼくの家族は神様を信じているから感謝します。みなさん話を聞いてくれてありがとうございます。(若者を歩むべき道の初めに教育せよ。年若いともそこらそれることがないであろう。箴言22:6)

## Gemma Rose Betiong

皆さん、おはようございます。私の名前はジェマ・ローズ・ベティオンです。今日は私の人生の証しを皆さんにお伝えしたいと思います

まず、私はこの世界には神がいると信じています。しかし、私の心の中には神についての多くの質問があります。しかし、私たちは答えを知りません。だから私は、主イエス・キリストを私の主であり救い主として、心から受け入れ、後悔のないように従うことを決意しました。

私は皆さんの前で、自分の人生に何が起きるといふことを見せすためここに来ました。まず、私は主を受け入れます。そして主の子どもとなり、今、新しいクリスチャンとして教会員となりました。

私は自分が完全な人間ではないことを知っています。私は罪人です。私がこれまでしてきたすべての悪いことを祈りの中ですべてを主に告白します。私たちは神を見ることはできませんが、洗礼を受けたこの日、神は私たちの祈りを聞いてくださると信じています。これは、今日から人生の終わりを越えて、私の罪に対する悔い改めのしるしです。

心を込めて主を賛美します。私が神の言葉を書くのを助けてくれた神の道具となってくれた人たちに、心から感謝します。神様が私たちを導き、いつ

も祝福し続けてくださいますように、アーメン。  
(イエスは彼に言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。誰も私を去るやないで父に来るよはなす。」ヨハネ14:6)  
(日本語訳 綿谷 剛)

## Megumi Niang Sian Kim

私は罪人であることを理解しています。イエス様を信じることによって、罪が許されること、永遠のいのちが与えられること、神の子どもとされることと理解できました。洗礼を受けて、イエス様についていきたいと決めました。(それからイエスは言われた。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。信じて洗礼を受ける者は救われるが、信じない者は滅びの宣告を受ける。」マルコによる福音書16:15-16)



Megumi姉

# 「福音丸記念會堂」の 祈りを受け継いで

「花咲く郷(さと)祈りの家」

管理人 山口正人

バプテスト教会の皆さま、始めまして。私たちに洗礼の印を刻まれたお方は皆さまと同じお方です。

## 名前の由来

『花咲く郷祈りの家』は、二〇一六年春に譲り受けた安下庄バプテスト教



安下庄 花咲く郷 祈りの家

会につけた名前です。〈花咲く郷〉とは、遺された教会境内から受けた第一印象に、私たちが関わって来た3・11東日本大震災被災者へのNHK応援歌「花は咲く」を重ね、〈祈りの家〉は、祈りの心を抱く謙遜な人々の集いと交流の場という願いを込めたものです。現在の施設役員はカトリック信徒3名と支援の滋賀比叡山系仏教者2名。安下庄のある周防大島に常在管理しているのは私一人の心細さですが、支えて下さる方々は地元にも、広島・滋賀の役員それぞれの周りにも多数おられます。

## 立地

施設は、安下庄小学校・橋総合センター・交番・県道4号線に四方囲まれた文教地区にあり、北を仰げば大島富士「嵩山(だけさん)」が聳え、散歩数分、南に安下庄湾が光を撥ねて拡がっています。船が主要交通手段であった時代を通じて、ビッケル船長伝道時代

もその後も安下庄は島の玄関口のひとつでしたが、一九七六年に島の反対側に本土と結ぶ大島大橋が開通し、一朝夕の内に町は凋落してしまいました。

## 理念と活動

「弱い立場にある人や心の疲れている人に寄り添う活動や事業を行うこと」を理念として、①疲れた人の保養宿泊

②地域の人たちの憩いや交流、③教会堂の保全と祈りの承継、を目標の柱にして事業や活動を進めています。

保養宿泊は、災害被災者受入れを最優先することを条件に有料の施設維持年会員を募集し、特典として廉価で宿泊・保養の場を提供しています。1家族・グループ限定のいわゆる貸別荘方式で、コロナ禍の今年でも八月はバカンス利用でいっぱいでした。他のシーズンには、周防大島町が推進する、中学校・高校修学旅行の民泊体験学習の受入れ家庭として、収益を施設運営費に充てています。

憩いや交流活動は、幼児から高齢者までが集い童謡・抒情歌を楽しむ音楽



安下庄 花咲く郷 祈りの家

## 展望と祈り

これらの事業や活動を、今後どのようにに継続し展開していくかは大きな課題です。〈明日のことまで思い悩む〉という聖句はありますが、地域の福音化のために働く使命に伝えたいという人間的な思いもあります。ぼんやりしたイメージですが、次のステップとして、障がいを持つ人も共に働き生きていける耕作地と加工場を持つことにならざるを得ない。

多くの皆様と手を携えて、瀬戸内の寒村の地の塩として、小さな歩みが継続し発展して行きますように。

私たちの本籍は天の国にあるという信仰は大きな慰めです。その希望に支えられて、旅路を歩み続けることが出来まますように。

# 東から西から

# 東から西からも

## 日本基督教団の さぬき島しょ部伝道報告

日本基督教団

香川豊島教会・香川直島伝道所

福田 哲



香川豊島教会



香川豊島教会 教会カフェ



香川直島伝道所



香川直島伝道所

香川県と岡山県の間瀬戸内海には3つ横並びに直島、豊島(てしま)、小豆島があり、それぞれ日本基督教団の教会・伝道所があります。真ん中に位置する豊島にある香川豊島教会に遣わされて5年目になります。直島の香川直島伝道所に兼牧5年目、小豆島の内海(うちのみ)教会は代務として2年目です。それぞれ規模の小さな教会ですが、無くてはならない伝道地として存在しています。

豊島の人口は年々減少しており八百人を切りま

した。その島唯一の教会です。現任陪餐会員9名、礼拝出席10名前後となりました。昨年までは会員13名、礼拝出席15名前後でしたが、高齢化どころか老齢化が進み、新型コロナウイルス感染症もあって、厳しい状況です。それでも素朴で熱心な信徒が集まってきます。

教会の活動の一つで独特のものは「教会カフェ」です。これは、主要道路から外れた道の、さらに行き止まりに位置する教会に、島民や観光客を招くために始めました。豊島は真言宗が大変強く、閉鎖的な環境もあって人の目も気になるのでしょいか、教会を知っている人も足を向けるにはなかなか勇気がいるようです。なんとか教会に入りやすい環境をと、牧師手作りのケーキ

で皆さまをおもてなしています。ケーキはホームページやフェイスブックをご覧ください。毎回40名前後の来訪があります。カフェではあえて「礼拝へどうぞ」との声かけをせず、教会の雰囲気、温かい交わりの豊かさを感じていただき、そこから自然に礼拝へと導かれることを願っています。

また、教会付属ではありませんが、キリスト教を母体とした福祉施設(保育所、特別養護老人ホーム、知的障がい者入所施設)との関わりも大切な働きです。職員や入所者が、主イエスとの交わりにつながることを願って、礼拝や音楽集会で種まきをしています。

直島は人口三千人ほどです。三菱マテリアルがあるため、人口はほとんど横ばいです。伝道所の現任陪餐会員は5名、礼拝出席はレギュラー3名です。直島は世界的観光地のため、礼拝や祈禱会を訪れる方が時々おられます。二〇一六年三月に改築し、世界の聖書や貴重な古い聖書の展示、34カ国語の主の祈りが彫られた「御言葉の壁」など、アートの島にふさわしい会堂が与えられました。これまで延べ千五百組の見

学者が与えられました。結婚式でも用いられています。直島在住の信徒2名が高齢のため、今後の会堂維持が課題です。島民への伝道を願っていますが、そのためには兼務ではなく常住する牧師を求めています。

小豆島は人口二万八千人ほどですが、内海教会の現任陪餐会員、礼拝出席は5名です。島が大きいので、まず近隣の地域への伝道が課題です。この大きな島のカトリック、バプテスト、ルーテルの教会はすべて無牧です。これらの教会と教派・教団を超えた交わりも、「島のクリスチャン」のために必要ではないかと協力体制を模索しています。

これらの島々、また分区の拠点である高松との行き来のために、時間に制約を受けない自分の船が欲しい！船舶免許は取りました。あとは船の実装が切実な願いです。

### 島々を巡る

### 祈里丸伝道

瀬戸田バプテスト教会牧師

石塚多美子

### 佐木島で与えられた船

二〇一七年三月三〇日に、私は、千葉県柏市から広島県尾道市瀬戸田町在住となりました。移住とともに一つの挑戦をしようと思っていました。それ

は、船舶免許を取ることでした。神学生の時の研修旅行で内海部会を訪ねた時に聞いた、見た、福音丸伝道の精神をこれから体感したいという願いがあったからです。

私の就任を聞き、生口島から高速船で約10分のところにある佐木島出身の川原勲三牧師が、お兄様夫妻に私のことを伝えていました。赴任してすぐの六月、そのお兄様よりお手紙をいただき、佐木島に招かれてお交わりをする機会をいただきました。船舶免許を取りたいことなどを伝えるとすぐに、尾道海技学院を紹介してくださいだったので、七月末にウィーク・デー二日コースで免許を取得、それと同時に、佐木島で釣り船を安く購入することができました。勲三先生のお兄様が、私の願いをかなえるために奔走してくださいっていたのです。

その船は、4・3メートル、船外機の小さな釣り船でした。ディーラーさんが手続き上つけた「石塚丸」という名前で、初めて自分の船を持つことに



最初の船 石塚丸



中島初上陸



石塚丸 来島海峡横断

になりました。

しばらく佐木島に係留させてもらっていた「石塚丸」でしたが、生口島に係留先が見つかり、移動をしたのが、年を開けてからの三月。サンセットビーチに近い垂水港に係留し、いつでも船を見に行くことができるようになってからは、港に行くたびに、たくさんの方々のような方々とかかわるようになりました。船のことも、釣りのことも（こちらを指導されることが多い）よく面倒を見ていただきながら、「石塚丸」を操縦して瀬戸内海の海と親しくなっていました。

### いざ、中島へ

ヨットマンの先輩方お二人の伴走で、二〇一九年六月、中島大浦港への初航海がかない、上陸を果たすことができました。

中島で礼拝している皆さんと移住者のみなさんの歓迎を受けましたが、同時に、来島海峡を越えてくるのに、こ

んなに小さく、故障の多い船外機では危険だと意見されました。「そうですよ。実は、一回り大きくなってもう少したくさん乗れる漁船が手に入ったらと思っているのです。」と、教会関係で、顔の広い富永さんにお伝えして、また、生口島に帰りました。驚いたのは、それから3日後、「私の同級生の船、いい状態だし、誰かに使ってほしいと。10万でどう？」と連絡がきたのです。ずっと祈ってきたことでしたので、即決しました。それから、譲渡の手続きをし、中島にいらつしやる千葉から移住されてきたヨットマン沼田さんが冬中管理してくださいました。その年三月に生口島にやってきました。その間、夏に中島を訪問してくださいました

神学校のみなさんが、島々に福音を伝えるために活躍した福音丸のように用いられることを祈って、船に名前をつけてくれました。自分が生かされているホームグラウンド（ふるさと）で祈り続けるという意味を込めたその名前は、「祈里（いのり）丸」です。

### 「祈里丸」始動

船底をきれいにしてもらい、エンジン回りや、傷ついた箇所をなおしてもらった7・4メートル、1・1トンの漁船が二〇二〇年五月二十三日に「祈里丸」として進水しました。まずは、

大三島や佐木島など近場で動かし、狭い係留先での出港／入港を繰り返しながら、「祈里丸」とも親しくなり、中



神学生たちと共に

島礼拝に行く時を待っていました。長い梅雨を超え、八月の第二日曜日にその機会がやっと訪れました。

朝、生口島垂水港を6時15分出航、8時35分発の中島大浦港発のフェリーの出待をして、入港、ということとは・・・2時間半かからなかったのです。いつもは、バス、鉄道、市電、フェリーと乗り継いで4時間以上かかっていることを思うと、やはり、島から島に直接行けるのは一番便利であると実感。もちろん、風が強いか、潮の流れの影響があれば、かかる時間は多少変わると思いますが、「祈里丸」での初の中島礼拝行きが果たされたことを、海の上で主に感謝しました。

九月の第二日曜にも、また、船出をすることができました。第2回目の航海には、ヨットマン永井先生が同乗し



祈里丸で中島初上陸



ヨットマンの先輩方と

てくださり、中島にいる同じくヨットマンのご友人沼田さんとともに、翌日、安下庄までの初航海が実現しました。お二人とも周防大島に行かれたことがあるので、航路を確かめるのにこんなありがたい機会はないと思ったのと、「祈里丸」を思い浮かべて向島キリスト教会綿谷さんが作詞作曲された「この海を渡ろう」というプレイズソングにもずっと背中を押されていたこともあり、また、大きく一步を踏み出すことができました。

### 安下庄上陸

中島から周防大島安下庄に行く途中で、「DASH島」も立ち寄り、安下庄港に近づいたときです。浮きが点々と置かれてあったので、網が仕掛けてある地域は避けて通ろうとしたのですが、怒鳴り声とともに、大きな船が私たちの行く手に立ちはだかりました。「おまえら、どこから来た船かあ？」

とそれは、安下庄漁協の組合長でした。「だれに断り入れて港に入るんだー！」と。本当にドキドキしましたが、祈りの家山口さんに頼んで係留してもらいと許可をとっていると何度か伝えて、やっと理解していただき、無事に、安下庄の港に接岸できた時は、胸をなでおろしました。「このトラブルは、よかったですよ。海で組合長と出会えて、やり取りできて、しつかり覚えてもらえたからね。」と山口さんが笑顔でおっしゃった時は、心が軽くなりました。

ヨットマンのお二人を福音丸記念会堂（現 花咲く郷 祈りの家）にお連れして、山口さんとも良き交わりの時が与えられ、神さまがすべてを整えてくださったからこそ、ここまで来ることができた、感謝でいっぱいでした。海の状態は毎日違い、特にこれからの季節は風が強くて、船で行けない日のほうが多いかもしれません。今年最後になるかもしれない、十月は、一人で中島に、そして、翌日、先月の航



安下庄港から崇山(だけさん)を望む

路を忘れないようにとまた安下庄に再上陸。その後、安下庄の町と港が一望にできる、崇山(だけさん)の頂上で福音丸が港に入ってビッケル船長たちが上陸したときのことを思い浮かべつつ、静かに祈りました。その日は、安下庄から生口島垂水港まで直行で帰りました。4時間弱でした。

### 島々を船で

十月の末には、東瀬戸内海にある小豆島、豊島(てしま)、直島で伝道牧会されている日本基督教団香川教区の福田先生と、生口島から「祈里丸」で岩城教会の礼拝にも行くことができました。ここは、現在、日本基督教団東予教区の牧師たちが交

代で午前の礼拝が終わってから移動され、午後に礼拝が捧げられています。ビッケル記念会堂という石碑がたっている丘上の教会に、「信仰だけで登ってきてますよ。」と一人の婦人がおっしゃっていました。「伯方島には教会がないので、ここまで船でできています。」というお方もいらっしゃいました。このように、島々の教会には、少人数でも礼拝を大切にされている方々がいらっしやいます。私は、そのためにも、移動をおしなすに、その現場に通うことの大切さを忘れたくありません。

これからも賛美と祈りを捧げながら、今礼拝が捧げられている島々はもちろんのこと、それ以外の島々をもひとつずつおたずねし、現地の方々とお会いしていきたいと思っています。そして、東と西でそれぞれ働かれている福田先生や山口さんをはじめ、島しょ部で働かれている方々とのつながりを大事にしながら、瀬戸内海全体を見て、地域伝道に携わっていただけるようにと祈っています。

内海部会のみなさんはもちろん、い



ビッケル記念会堂碑



これまで遠方から応援に来てくださった総主事とカチン族の青年たち、神学生、関東からきたミッションキャラバン、関西の教師会の先生方の再訪を心待ちにしています。今度は、祈り丸での巡回伝道にお伴してください。

(瀬戸田 石塚多美子)



岩城教会

## コロナ禍の中で 教会の対応

向島キリスト教会

綿合 剛

今年度の初めから、新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり、教会でも大きな影響を受けました。内海部会でも定期総会を延期、諸行事を中止せざるを得ない状況となりました。向島キリスト教会での取り組みと課題を紹介します。

### 【新型コロナ対策の経緯】

二〇二〇年一月中旬頃から中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症に関する報道が始まりました。その後、ダイヤモンド・プリンス号での集団感染の報道が毎日行われるようになり、日本国内での感染が懸念され始めました。一月末には日本国内でもマスク不足が現れはじめ、高額転売が問題となりました。

そんな中、向島キリスト教会では、二月二十二日の役員会で、「手の消毒用のアルコールスプレーを購入して、玄関受付とトイレに設置する。」ことを決めました。

韓国のキリスト教系新興宗教の教会での集団感染や、世界への感染拡大を受けて、カトリック東京大司教区では二月二十六日に公開でのミサの中止が

発表され、日本基督教団でも注意喚起の通告がなされました。三密を避けるということが言われはじめ、教会においても対応が迫られました。また、二月二十七日に政府は三月二日から全国一斉の臨時休校要請を発表しました。三月一日に教会員による「教会のビジョンを語る会」を行う予定でしたが、これを「コロナ対策について話し合う会」に急遽振り替え、対応を話し合いました。そこで、感染拡大状況に感じたる段階からなる「向島キリスト教会の新型コロナウイルスによる新型肺炎感染拡大に伴う対応について」を取り決めました。

第一段階としては、礼拝・祈祷会以外の集会を取りやめ、飲食を伴う会を自粛することとし、簡易マスクの貸与、アルコール消毒液の設置などを行うこととしました。

第二段階は、尾道市周辺で感染者が確認された場合の対応とし、礼拝のYouTube配信を行って視聴可能な方は自宅で礼拝を行っていただくこととしました。ソーシャルディスタンス確保のため座席の間隔を開けて座ることとし、換気のため窓や玄関を開け放して礼拝を行うこととしました。聖餐式、礼拝前の讃美の時間は中断し、礼拝奉仕者が出席できないので牧師が司会なども行い、奏楽はヒムプレーヤーを利用することとしました。

第三段階は、教会内で感染者が出た場合の対応とし、その場合は2週間の集会中止を行うこととしました。

これらの方針を取り決め、三月二日から第一段階の対応を行うこととし、第二段階は備えて三月八日からYouTube配信のテストを開始しました。

三月二〇日に尾道市で初めての感染者が確認されたため、二十二日より第二段階の対応に移行し、YouTubeでの礼拝の本配信を開始しました。

四月十日には広島県で週末外出自粛要請が出され、四月十六日には国家緊急事態宣言が発出されました。この中で、聖餐式は取りやめ、四月の役員会は中止し、五月十七日に実施予定だった教会定期総会は延期しました。

五月十一日に広島県は感染状況が収まってきたことを受けて自粛要請レベルを4から3に下げ、五月十四日には政府が広島県を含む39県について緊急事態宣言の解除を行ったため、五月十七日よりYouTubeによる自宅礼拝の奨励を解除し、五月より役員会を再開することとしました。

五月二十二日に広島県が自粛要請レベルを1に引き下げ、五月二十五日には国家緊急事態宣言が解除されたため、五月三十一日より、教会学校と礼拝前の讃美の時間を再開し、定期総会を六月十四日に行うこととしました。

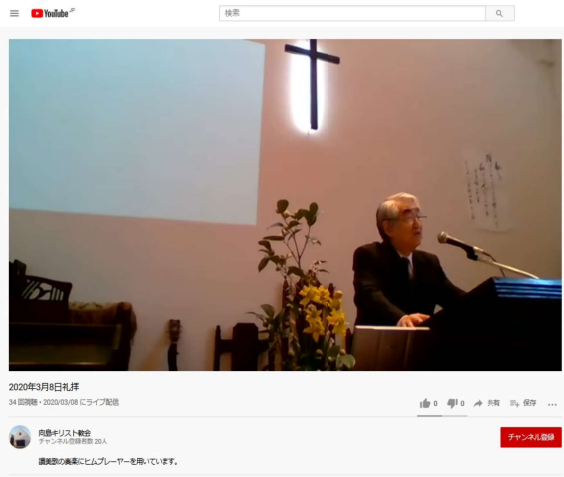
六月七日には、説教者や司会者がマスクをしたままだと表情が見えないことから、講壇に透明シールドを設置しました。

七月五日に主の晩餐式を再開しましたが、七月二十六日に、感染の第2波の拡大がみられたため、再び礼拝前の

讚美の時間の中止を決めました。  
七月三十一日に尾道市内で感染者が確認されたため、主の晩餐式の休止、教会学校の休止を行うこととしました。尾道市内での感染状況が落ち着いていることから、九月六日より主の晩餐式、讚美の時間、教会学校を再開することとしました。

### 【インターネットでの同時配信】

教会に集まらずに自宅礼拝ができる環境を整えるため、いち早く、ユーチューブ配信のテストを行いました。以前からインターネット伝道を行い、会堂内に無線通信環境を整えていたことや、カメラ付きのノートパソコンが利用できたことがとても役に立ち、機材としては、配信用のマイクを購入しただけで済みました。当初は、操作の不慣れや、システム側の誤判定による配信ト



ラブルがありましたが、本配信を始めてからはほぼ継続的に配信できています。動画の画質や音質にこだわった配信が行われている教会もあるようですが、会堂での礼拝の代替手段と割り切り、基本機能だけを用いて簡単な操作で配信できることを重視しました。感染の拡大時期には、自宅にインターネット環境がある方はできるだけ自宅で礼拝していただくよう奨励しました。自宅にインターネット環境のない方々（主に高齢者）が礼拝に優先的に集まることができるようにするため、感染時に重症化する可能性が高い高齢者の方々の感染の機会をできる限り少なくするためでした。数家族がリモートで礼拝に参加しましたが、一方、会堂で礼拝をささげたいと強く希望される方々も多く、衛生対策をしっかりと行



講壇の透明シールド

いながら会堂での礼拝を守りました。  
【衛生対策について】  
教会内での感染を避けることが重要な課題でした。  
マスクが市中から消えたため、お貸しできるようなハンカチとゴムで簡易マスクを作成し、品薄となったアルコール消毒液やペーパータオルを何とか確保しました。また、テーブル、椅子だけではなく、お貸しした聖書・聖歌の消毒を徹底しました。また、座席を一つ置きに座ることにしたり、講壇に透明シールドを設置したりしました。

礼拝時には会堂の排煙窓や玄関扉を全開放し、換気を行っています。感染拡大が始まったのが三月で気候の良い



窓の開放



ハンカチマスク



座席カード

時期であったため当分は問題となりませんでした。夏には非効率ではあるものの換気を行いながら冷房を行うこととなりました。教会によっては、住宅地内にあるところもあり、窓を開けると騒音の苦情が来るので讚美ができないという声も聞きますが、何とかご近所にもご理解をいただいているよう感謝しています。

これから寒い時期を迎え、窓を開放しながら礼拝することは、高齢者や身体の弱い方にとっては健康上の問題が大きい。そのため、窓を閉めても換気ができるよう、熱交換式換気システムの導入を検討しましたが、あまりにも費用がかかりすぎるのが分かり、業務用の空気清浄機を導入することにしました。石油ストーブも増設し、プログラムの時間を短縮して暖かい中で礼拝を行えるようにしようとしているからです。

### 【課題】

感染予防のため人と人との接触を避ける必要があり、現在はまだお茶や食事を通しての交わりをすることができ

ていません。数年前に開始し、近隣の方々が集まって下さりお茶とお喋りの時となっていたオープンチャーチ『タラント』も長い期間中断したままであり、またコンサート等の伝道集会もできない状態で、伝道・牧会に大きな影響を受けています。誰でも私のところに来なさいと言われるイエス様を伝えていくべき教会が、感染のリスクから人を受け入れることができずにいることは本当によくないことですが、これに代わる手段が見いだせていない状況です。

リモート会議や動画配信など、インターネットを利用した新しいコミュニケーションの方法は一気に広がりましたが、教会では高齢者が多い状況の中で、それらが利用できない方々のコミュニケーションをどのように行うべきなのか、まだまだ課題は多いと思われるます。

また、会堂の衛生対策や、普段みんなで行っている会堂清掃などを牧師ご夫妻にお任せしてしまっており、負担をかけています。

また、新型コロナウイルスの感染が終息するまでには、かなりの時間がかかりそうではあります。どんな状況にあっても、主がともにおられ、私たちを導いて下さることを信じながら、主が大切にされることを私たちも大切にしたいけるよう祈り求めていきたいと思っています。

# 教会短信

## 小豆島バプテスト教会

現在も無牧で、井上牧師が代務者となつて下さり、8年目を迎えました。年間3回の説教と聖餐式を予定しておりましたが、コロナウイルス感染症のため三月はとりやめとなりました。いつもさまざまなご指導を頂いております。又、教会員でもある中家京子先生にも月1回の説教と聖餐式をお願いしておりましたが、シラバスに切りかえてもらいましたが、多くなりました。それ以降は、藤井勇次牧師から頂いた録音テープで礼拝を行っております。

感染症第一波の時は、一ヶ月余り教会礼拝を家庭礼拝としました。再開できた時はとても嬉しかったです。みんなですしよに讃美歌を歌い、祈り合う事の心強さを感じました。礼拝参加者は6〜8名です。その中で病を患っている高齢の兄弟姉妹がおります。一日一日を大切に、教会の主題目標である聖句「共にいます神」「いつも喜んでいなさい。たえず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」テサロニケ5:16〜18を覚えて祈っております。何はともあれ、早くコロナが終息し、安心して県外を往来でき、主にある皆

様との交わりができますように願っています。

・召天者記念礼拝

十一月一日に行いました。生涯、主の業に励み私たちに信仰の遺産を残して召された方々への感謝の祈りを捧げました。

コロナ対策

- ・感染予防のためにマスク着用、手指の消毒、室内の机、椅子など消毒
- ・三密をさけ、暖房しながらも窓をあけて換気をよくする
- ・礼拝プログラムを省略して時間を短縮する。
- ・聖餐式をしない。礼拝後のお茶、会食を控える。
- ・公共の交通機関を利用して県外へ出るには不安があるので、遠出を自粛しています。

(石本恭子)

## 向島キリスト教会

二〇二〇年度は新型コロナウイルスの為、殆どの行事が中止になりました。新型コロナウイルスの向島キリスト教会の対策については、当教会の役員の間で報告しますので、牧師として綿谷兄が報告しますので、十月の歩みを中心に当教会の様子をお

知らせします。

聖日は、教会学校の礼拝で始まり、説教者は私を含め、6人が交代で担当しています。分級の小学科は生徒二人に教師が二人、高等科は生徒一人に教師二人が「成長」を用いて行います。10時25分にライブ配信を始め、5分間、礼拝と奉仕者のために着席のまま各自が祈り、10時半から15分は讃美の時間です。担当者が交代で立ち、皆で主に讃美を捧げます。10時45分から礼拝、コロナ感染防止のため、入場時に手指の消毒をし、マスク着用で2メートルの距離を置いて座ります。26名が限界ですが、最高で25名、十月も平均21名でした。礼拝に七月から新たに出席し続ける方を主が与えて下さいます。

第一週は聖餐式を行います。感謝の



小豆島教会 井上師、中家姉と



向島教会 早天祈祷会



向島教会 祈祷会

水曜夜の祈祷会は、昼間来られない人の為に行い、午前と同じものを学んでいます。女性会は、第一聖日礼拝後に7、8名が出席し、コロナ感染を危惧し、祈りと事務連絡に留めています。

教会定例役員会は、第四週の礼拝後に行います。牧師、責任役員、女性会長、CS校長、会計監査が出席します。今月は寒さ対策のため、換気システムを導入するかどうか等を協議しました。高額のため導入せず、空気浄化装置と灯油ストーブを購入し、厳寒期に備えることにしました。その時は前後に換気と暖めを行い、礼拝を1時間以内に収めることにしました。伝道のためのコンサート等を実施したいとの案も出しましたが、コロナ感染状況を考え、無理との結論になりました。(大谷孝志)



土生教会 主日礼拝



森春子姉召天記念

早天祈祷会は火、金に行い、祈りは役員が行い、配餐はマスク、手袋を着用した私の妻が行います。受けた人はすぐに戴きます。十月の陪餐者は客員2名を含め19名でした。礼拝後ライブ配信を終了し、報告の時を持ちます。その後、第一週は誕生日の人に牧師が誕生カードを送ります。その後、受浸者と誕生者のために牧師が祈ります。19時半から夕礼拝を行います。出席者は牧師家族ですが、ライブ配信・動画を見て養われている人がいます。

次々週の礼拝説教の準備を兼ねて、その聖書箇所を二回に分けてお話ししています。今年度は一度だけ、1名が加わりましたが、牧師夫婦が出席者です。水曜午前の祈祷会は、女性6名と牧師夫婦が出席者です。マルコの福音書を学びを続けています。お話の後、質問、疑問、心に掛けていることを語り合います。恵みを分かち合う時になります。その後、各自が祈り、主の祈りをもって閉じます。

水曜夜の祈祷会は、昼間来られない人の為に行い、午前と同じものを学んでいます。女性会は、第一聖日礼拝後に7、8名が出席し、コロナ感染を危惧し、祈りと事務連絡に留めています。

田熊認定こども園の村上彩は三月をもって退職。  
重井幼稚園 峯松みなみ就職  
三月一日(日) 礼拝は新型コロナウイルスで礼拝時間を短縮。  
三月一日(日) より聖餐式は中止  
三月二日(月) より小中高が休校。  
幼稚園、認定こども園では園児を保育。  
四月五日(日) 受難週〜四月十二日(日) イースター礼拝 墓前礼拝  
幼稚園・こども園関係  
四月四日(土) 田熊認定こども園入園式  
四月七日(火) 一学期始業礼拝  
四月八日(水) 重井幼稚園入園式



向島教会 教会学校礼拝



向島教会 主日礼拝



向島教会 夕礼拝

## 土生バプテスト教会 & 重井幼稚園



敬老の集い



教育実習生はマスクを着けて部分実習



## 瀬戸田バプテスト教会

・コロナ禍での礼拝は、マスクをつけ  
讃美歌を少なくし、交読文は黙読など  
努力して、聖餐式は中止中です。  
(林原 弘)

六月十四日(日)  
土生バプテスト教会総会  
八月二日(日)戦後75年平和礼拝  
十月二日(土)森春子百大一年記念会  
十一月十二(木)  
田熊認定こども園 収穫感謝礼拝  
十一月十八日(水)  
重井幼稚園 収穫感謝礼拝  
十二月二〇日(日)  
土生バプテスト教会 クリスマス礼拝

二〇二〇年度のあゆみは、新型コロナ  
ウイルスの影響を受け、実質的には  
六月二十一日に総会を開いてやっと始  
まりました。今年度の主  
題聖句は、今年も、教会  
員からの公募と投票によっ  
て決めました。コリント  
の信徒への手紙13章13  
節です。当教会では、少  
人数での礼拝ですので、  
マスク着用、換気、消毒  
などの対策を取った上で  
礼拝は緊急事態宣言下で  
も継続していました。た  
だ、讃美歌や交読詩編な  
どプログラムを多少縮小  
する、愛餐会はしない、  
子どもたちや地域の方々  
を招く伝道プログラムを  
計画しないなど、普段と  
は違う面もやはり出てき  
ています。そういう中で、  
一人一人が、自宅におい  
ての祈りの時を大切に確  
保しながら、礼拝堂に集  
まれる人は、来られない  
人も共に礼拝しているこ



瀬戸田教会

とをより強く意識していました。電話  
週報発送、訪問など、一人一人と関わ  
ることの大切さを実感しました。病気  
で療養している方も増えてきました。  
働き人が少ないのですが、奉仕をする  
しない、できる、できない、礼拝に来  
られる、来られないなどの条件ではな  
く、キリストの体としてイエスさまが  
一人一人を招いてその存在自体を大事  
にされていることを忘れずにいたい  
と示されています。

### (子ども礼拝について)

このような時期ですが、世間の動き  
とは反対に、教会学校の子どもたちが  
集まってきています。九月には、12名  
になりました。礼拝と交わり、時に分



瀬戸田 新しい友だちが来たよ

級で工作をしたりして、楽しんでいま  
す。一人が一人を、そしてその一人が  
兄弟姉妹を導いてくるのです。おもし  
ろいことに、その大半が卒園児ではな  
く、島で一番大きなお寺の保育園出身  
の子どもたちです。一人の時も毎週来  
続けていた女の子は、「教会の幼稚園  
の子じゃないから、礼拝とか讃美歌と  
か新鮮なんじゃないかな？」と話して  
いて、なるほどと思いました。学校と  
いうのは、響きが固いので、子どもた  
ちみんなで名称を決めました。10以上  
の候補が出ましたが、最終的に「やさ  
しい神さまの部屋」と決まりました。

### (安下庄礼拝について)

安下庄祈りの家での礼拝も、緊急事  
態宣言下では会堂を借りている立場で

すので自粛していましたが、家庭礼拝も経て、今も続けて捧げられています。中川純良信徒説教者、中川このみ姉の献身的なお働きが主に喜ばれ、用いられ、豊かな実を結ぶことを信じています。今年度から、瀬戸田と安下庄の講壇交換を始めました。牧師が中島夕礼拝のない、偶数月の第4週に行っています。これからは、瀬戸田・原・中島・安下庄、それぞれの地での礼拝が続けられ、新しい方々が導かれてくることを主に期待していきます。

### 中島集会所

広島平和キリスト教会タウン・カン・クップ牧師のご奉仕もあり、今年も、月2回の礼拝を捧げることができていることを感謝しています。梅雨明けか



中島集会所

ら雨がまったく降らず、柑橘農園や、有機農法の農園をされている方が多い島では、恵みの雨を待ち望んでいます。一月を超えてやっと雨が降ったときは、みなで大歓声をあげました。今、青いミカンが色づくのを待っています。今年、天候が整えられた際、3回「祈り丸」で生口島から中島に行くことができました。中島で与えられた漁船が生口島できれいにメンテナンスを受け、島々での礼拝のために動き出したことを中島のみなさんが何よりも喜んで下さっています。

礼拝のあと、お茶の交わりと祈禱会をしますが、そのあとに、個別に聖書を読む会をする時もあります。礼拝に來られなかった方でも、集会所に朝に夕に訪ねて來られるので、よい時間を持っています。

残念ながら、県外である瀬戸田との合同礼拝、子どもクリスマス祝会は、今年中止を決めました。限られた滞在時間ではありますが、中島にいるお一人お一人が生活の座で証しをされている姿に励ましを受けながら私も伝道に励んでいきたいです。

### 原集会所

定期的に月1回の礼拝や、毎週木曜日の祈りの時を守っています。瀬戸田の礼拝に來られない方々や、原近隣にいらっしやる他教会の方もレギュラーメンバーとして來られていることに励まされています。瀬戸田で礼拝を捧げ



原集会所

ているメンバーも、原地域のみなさまとの礼拝と交わりを楽しみに集ってくださるので、賑やかになります。十月より、もう一回、集まって聖書を読む時を設けることにしました。

### 大三島祈りのテラス

昨年十月初めに何も無い土地で起工式をしてから、工事関係者のご都合もあり、実際にテラス工事にかかったのは、三月に入ってからでした。しかし、丁寧に、かつ、早く建設が進み、四月二十九日に完成しました。その知らせを聞き、早速訪れてくださったのは、向島キリスト教会の兄弟姉妹でした。内海で生まれた讚美を共にし、祈りを捧げました。



大三島 祈りのテラス

隣の島、愛媛県になる大三島には、毎週金曜日に行き、信徒さんを訪問し、祈りのテラス周りの花壇の草取りをしたりしています。屋根がついているので、雨の日でも、一人静かに聖書を読み、祈る時を持っています。そして、涼しくなるのを待ちに待って、十一月一日の午後、大三島テラスでの第一回礼拝をすることが出来ました。これからも、多くの方々が訪れてくださり、共に賛美と祈りを捧げる場所となり、地域の方々にもよい証しができることを祈り求めています。

(石塚多美子)



## 広島平和教会

広島平和教会では、コロナ禍なので、この教会も同じだと思えますが、活動、行事などは中止になり、礼拝もリモートで行うことになりました。きちんと礼拝が出来るようになったのは、十月くらいからでした。

子ども達が多いので、第一、第二礼拝と分け、第一は大人で、第二礼拝は子ども達で行います。第一は、今までより静かな礼拝ですが、第二は、子ども達の元気な歌声で賛美されています。昨年より、広島宣教協力会の提案で、広島市の教会に呼びかけ、みんなで大きなホールで礼拝をという話だったのですが、コロナの関係でリモートで十



バーベキュー大会



献児式

月十一日に行われました。広島市にある29の教会、4つの団体が参加されました。

各教会、賛美、演奏があり、私達の教会は、子ども達の賛美で参加させて頂きました。小さな子ども達の賛美は、私達だけでしたので、皆さん喜んで頂きました。とても、可愛らしかったです。

十月二十五日には、礼拝後、リモートに気をつけながら、急遽バーベキューが行われる事になりました。

大変でしたが、皆さんとの交わりは久しぶりだったので、本当にみんな笑顔で楽しい時間でした。

まだまだ、先の見えない現状ですが、小さな光を大切にしながら神様に希望をおいて、お互いに支え合っています。

(山根幹枝)

# 「内海で生まれた讃美集」完成

準備して参りました内海で生まれた讃美集「瀬戸の海から」が完成し、十月一日に発行致しました。皆様の手元に届きましたでしょうか。

詳細については、JB2020・10月号 (Vol.343) の特集記事で紹介いただいておりますのでご存じのことと思います。

この讃美集は、内海部会の諸教会と内海伝道に関わられた方々から寄せられた自作の讃美歌(プレイズソング)を編集したものです。作詞に関わった方11名、作曲に関わった方8名の多様



な自作讃美を31曲掲載されています。全く初めて作詞や作曲に挑戦されたものもありますので、つたないところも多々ありますが、それぞれの楽曲には、神様への信仰があらわれています。

ぜひ、多くの教会の皆様にも手を取って歌っていただきたいと願っています。

特設のホームページから、伴奏用の楽譜や、パワーポイントの歌詞、サンプル音源をダウンロードしていただけます。(http://www.333.ecnet.jp/naikai/praisebook)

必要な部数を向島キリスト教会宛にご連絡いただければ郵送させて頂きますので、ぜひご連絡下さい。

(内海で生まれた讃美集編集委員 綿谷 剛)

### 【編集後記】

新型コロナウイルスの感染が終息しない中、人と人との暖かい触れ合いが妨げられて、宣教活動に支障をきたしています。が、これまでの常識にとらわれずに、神さまのためにできることをひとつひとつやっていきたいですね。ぜひ、これから内海の伝道のために、お祈りとご支援をいただきますようお願いいたします。

(編集委員 石塚多美子、

大谷孝志、綿谷剛)

# 福音丸伝道継続事業献金感謝

## 2019年度 献金感謝一覧

団体名称	教会名称	教会名称
関東学院六浦小学校	曾根キリスト教会	奈良佐保キリスト教会
捜真小学校	日ノ本教会	大阪神愛教会
厚木幼稚園	松島キリスト教会	日本バプテスト厚木教会
関東学院中学校高等学校	帯広伝道所	
捜真学院	木津キリスト教会	小豆島バプテスト教会
関東学院小学校	磯子の丘教会	向島キリスト教会
	若葉台集会所	土生バプテスト教会
	関西部会新年信徒大会	瀬戸田バプテスト教会

氏名	氏名	氏名
石塚多美子姉	田辺幹夫兄	三浦花子姉
大谷孝志兄	原田哲雄兄	丸本勝彦兄
丸山康姉	横瀬実兄	田頭サヤカ姉
人見富美子姉	野村篤子姉	益 巖兄
柴田豊子姉	丹野真人兄	
関田明美姉	蟹川京子姉	
島田秀子姉	室井朗子姉	

内海部会以外教会・団体 17	内海部会教会 4	個人 18	合計 39	前年 53
----------------	----------	-------	-------	-------

### 内海伝道団会計報告・予算

項目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算
収入			
1. 教会・協力団体	250,000	259,941	250,000
2. 個人	250,000	277,000	250,000
3. 前年度繰越金	718,168	718,168	922,531
合計	1,218,168	1,255,109	1,422,531
支出			
1. 開拓伝道応援費	200,000	131,200	200,000
2. 諸教会応援費	50,000	50,000	50,000
3. 福音丸新報発行費	25,000	25,480	26,000
4. 福音丸新報送料他経費	35,000	37,430	38,000
5. 振替手数料	6,000	3,391	6,000
6. 事務費	10,000	11,969	10,000
7. 活動費	50,000	53,108	50,000
8. ミモザ会費	20,000	20,000	20,000
9. 讚美集発行費	0	0	100,000
10. 予備費	822,168	0	922,531
支出計	1,218,168	332,578	1,422,531
11. 次年度繰越金	0	922,531	0
合計	1,218,168	1,255,109	1,422,531

開拓応援伝道費は各教会の開拓伝道費(含むコロナ対策)の補助  
諸教会応援費は中島集会所の補助

### 感謝とお願い

主のご降誕をお喜び申し上げます。  
瀬戸内海伝道団による福音丸伝道継続事業のためのお祈りと貴重な献金を感謝申し上げます。

内海部会も年々縮小化する傾向にありますが、昨年も皆さまのお祈りとお支えにより、主の御業の一助としての活動ができましたことを感謝申し上げます。昨年は振込用紙を用意できず、同封できなかったことをあらためてお詫び申し上げます。今年もご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

瀬戸内海伝道団会長 石塚多美子  
☆献金の送付は、同封の郵便為替用紙または

「瀬戸内海伝道団」  
口座番号 01340-3-11913  
にお願い致します。

県	教会名	郵便番号	住所	電話	牧師
香川	小豆島バプテスト教会	761-4121	小豆郡土庄町淵崎甲2071-22	0879-62-2053	井上正之師(代) 中家京子師(補)
広島	向島キリスト教会	722-0073	尾道市向島町16058-22	0848-44-2762	大谷 孝志師
広島	土生バプテスト教会	722-2323	尾道市因島土生町1602-1	0845-22-0593	林原 弘師
広島	土生バプテスト教会 重井集会所	722-2102	尾道市因島重井町3055	0845-25-0134	(兼)林原 弘師
広島	瀬戸田バプテスト教会	722-2411	尾道市瀬戸田町瀬戸田378-1	0845-27-0173	石塚多美子師
愛媛	瀬戸田バプテスト教会 中島集会所	791-4501	松山市中島大浦2107-10		(兼)石塚多美子師
広島	広島平和キリスト教会	731-0101	広島市安佐南区八木3-5-17-10	082-872-1150	トゥン・カン・クップ 師